



薬学ゼミナール生涯学習センターと筑波大学 前野哲博先生が設計する

薬剤師人生を成功させるための短期集中ゼミ 2025年度「Ph2030プログラム」開講!

薬学ゼミナール生涯学習センターと筑波大学 前野哲博先生が研修設計した、6か月に及ぶゼミ型の集中講座「Ph2030プログラム」が今年も開講されます。このゼミでは、2030年までに必要な薬剤師の普遍的かつ本質的なスキルを学習します。

最高の学習環境を用意

筑波大学と薬ゼミの医師・薬剤師が完全監修したプログラム

少人数制のため質の高い学習コミュニティで学べる

臨床推論（頭痛・腹痛・風邪など）検査所見の解析が全て学べる

● 反転学習で確実に知識を定着させることができます

アウトプットを重視したプログラムで、現場での応用がすぐに可能。また、Ph2030ゼミ専任メンターを配置し、プログラム以外での質問対応などのきめ細かいサポートを行います。

● 薬剤師の領域を広げ、医師の思考、マネジメントを体系的に学べます

医師との共通言語を学ぶことで、お互いにとって適切な提案ができるようになります。そのため、講座は医療の専門知識だけでなく、コミュニケーションや問題解決のための志向などが学べるプログラムとなっています。

● 学び続ける力を手に入れることができます

事前学習、ディスカッションを交互に繰り返すことで、薬学知識の習得はもちろん、ゼミ卒業後も活用できる「勉強をする習慣」を身につけることができます。

Ph2030プログラムの流れ

Ph2030プログラムは、医師たちとの共通の言語や思考を学習することで薬剤師の視野を広め、視座を高めることを目的としています。基礎的なスキルとして、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上、専門的なスキルとして、臨床推論（頭痛、風邪、腹痛、動悸など）、糖尿病のトータルマネジメント、検査所見の解析、臨床倫理学が学べる幅広い内容となっています。



業界で活躍する医師・薬剤師の講師陣

Doctor

筑波大学 医学医療系
地域医療教育学教授/附属病院 総合診療科
前野 哲博 先生

Doctor

筑波大学 健康ライフスタイル開発研究センター長
筑波大学 医学医療系 地域総合診療医学 准教授
吉本 尚 先生

Pharmacist

ファシリテーター
前田紗代子

Pharmacist

ファシリテーター
徳田和也

Ph2030プログラム詳細

	日程			プログラム	
	日付	曜日	時間・形式	内容	概要
1	8月10日	日	13:00～16:00 集合(東京会場)	・地域で求められる薬剤師の役割 ・臨床推論(頭痛)	★ 地域医療で求められる薬剤師の役割 ・地域包括ケアの概要と将来の予測像を理解し、通院中の患者の生活や退院後の生活を考慮したマネジメントを多職種で連携して行うための具体的なゴールイメージをつける ・薬剤師として地域に貢献するためのアプローチの多様さを理解できる
2	8月31日	日	13:00～16:00 オンライン (生配信)	コミュニケーションスキルの実践	★ コミュニケーションスキルの実践 *医療面接における3つの役割*が理解できる *「患者理解のための情報収集」「治療への動機づけ」「信頼関係の形成」 ・医療者が欲しい情報について、患者が話しやすいように聴く手法を実践できる ・解釈モデルを理解し、患者との適切なコミュニケーションが図れる
3	9月7日	日	13:00～16:00 オンライン (生配信)	臨床推論(風邪・胸痛)	臨床推論 ・臨床決断に関する、医師の思考回路の基本的な部分を理解できる ・症候診断のアセスメントについて、最終判断は医師に任せるという前提で、自分にできそうな範囲から少しやってみようという気持ちになる
4	9月28日	日	13:00～16:00 オンライン (生配信)	臨床推論(腹痛・動悸)	・アセスメントを対患者、対医師とのコミュニケーションに役立て、薬剤師としての臨床決断ができるようになる
5	10月12日	日	14:00～16:30(予定) 集合(筑波会場)	・臨床推論(しびれ) ・臨床推論(総合演習/SP面談) ・フィジカルアセスメント	★ 臨床推論:総合演習 ・臨床推論の考え方をベースに、実際の対話に表現することができる ・対話を通じたアセスメントの結果、医師への情報伝達方法のポイントを理解できる ・実際の薬局のカウンターや病棟での患者との対話において実践的に活用するイメージをつける
6	10月13日	祝日	9:00～13:00(予定) 集合(筑波会場)	フィジカルアセスメント	・正しい血圧の測り方、聴診器の使い方、心音や呼吸音の異常を知ることで 対面業務や在宅医療などに活用できる
7	10月26日	日	13:00～16:00 オンライン (生配信)	臨床倫理	★ 臨床倫理 ・臨床の現場の倫理的な問題を認識することができる ・倫理的な問題を共有、整理、分析し、解決を試みようとするための「臨床倫理4分割法(①医学的適応、②患者の意向、③QOL、④周囲の状況)」について理解できる
8	11月9日	日	13:00～16:00 オンライン(生配信)	検査所見の見方・考え方	検査所見 ・検査所見の解釈に関する基本的な考え方が修得できる ・検査所見の解釈を通して、疾患の病態生理が理解できる ・検査所見の解釈を通して、医師が行っている診断・治療方針の決定プロセスが理解できる
9	11月30日	日	13:00～16:30 オンライン (生配信)	ポリファーマシー	ポリファーマシー ・ポリファーマシーの発生機序を理解し、改善のためのアプローチ法を学ぶ ・実際の症例などを元にポリファーマシー解消へのアクションを検討する
10	12月21日	日	10:00～17:00(予定) オンライン(生配信)	学習した内容から課題の抽出・プレゼン	★ 学習した内容のプレゼン、まとめ ・Ph2030を受講して、地域で活躍できる薬剤師としての目標が明確になる ・他メンバーの発表を聴講し、各地域での薬剤師の活躍できるポイントを共有できる
11	12月22日 ～ 3月21日		自主学習・実地研修	プログラム終了後の課題:受講者ごとに薬剤師業務へ活用 ・各々の地域において講座で学んだ内容の実践を継続 ・運営側が進捗確認	
12	3月22日	日	10:00～17:00(予定) 集合(東京会場)	地域貢献した内容を最終発表 ※撮影・録画としてアーカイブを作成し、 薬剤師対象のWeb情報発信サイトに掲載(予定)	★
※	視聴可能期間 申込後 ～ 3月31日	自主学習	※8月10日より視聴開始 e-learning	・臨床推論:各15分×7症候 腰痛/呼吸困難/体重減少/便秘異常(便秘・下痢)/嘔吐/浮腫/排尿障害 ・糖尿病・otalマネジメント・ヘルスプロモーション・検診・行動変容・患者中心の医療と多職種連携	

Ph2030プログラム 第三期生募集!

- 受講期間 2025年8月10日(日)～2026年3月31日(火)
- 募集人数 先着20名限定
- 受講料 定価176,000円(税込み) ⇒ 割引価格99,000円(税込み)
※10月12日(日)からの1泊の宿泊費用も含まれます(交通費は自己負担)
- 出席できなかった場合の講座については、課題提出等で対応可能
(8・10・12・3月の★講座については出席必須。状況によりご相談可能)

Ph2030プログラムの3大特典

1. e-Learning 及び講座 (WEB 配信講座含む) 受講で認定単位を取得可能!
(全講座受講で28単位取得可能)
2. 薬剤師同士での横のつながりの形成
3. 修了証発行

第1期生の声



- ・ 偏った科の処方を受けていた日常だったが、他科に付随する勉強をする機会ができて本当に充実した1年になった
- ・ 意識の高いメンバーからとても刺激を受けた
- ・ 知識の場を広げて服薬指導スキルを高めることができた

お問い合わせ



一般社団法人薬学ゼミナール生涯学習センター 受付係
info@yakuzemi-shougai.jp

お申込み



薬ゼミラーニングトレインへ
ご登録のうえサイトより
お申込みください

